

『ぶどうのみのつきかいたをしらべる』

- どうしてしらべようとおもったのか
 ぶどうがすきで、たくさんたべられるといいなとおもったので、おいしいものでえらぶときにたくさんみかについているのをかいたんにえらべるようなほうほうをしりたかったから。

- はじめにそうぞうしていたこと



よくアークやえでみかける
 うんかにおおくてしたにいくほど
 すくなくさいごはひとつ。

- しらべたけっか

ほんものはうんかいちばんおおくて
 まんなかからへっていき、いちばん
 したはおおかった。

⇒ かいものをするときのポイント

う、さがながいほどこすうもおおいこ
 とかわかった。

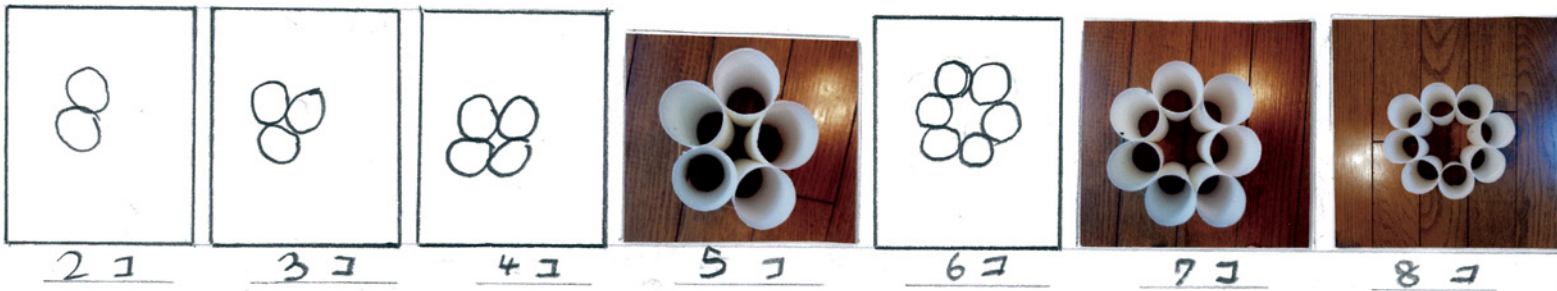
• きづいたこと

3

みのつきかたはひだりとみぎで"10=ほど"さがあつた。たいようのあたりかたでちがうのがもしれない。そしてくきをちゅうしんにしてまるくついでいる。しかもうねしたのじやまにならないようにずれてもいた。

• えだにみかづまるくつくようす

2.3.4はすぐにかけました。おおいとむずかしく、7コはどうしてもかけないのでくふうしました。



おおきなまるのなかにさんかくやしかく、ほしなどがかたくさんかくれていて、きれいです。

• かんそう



まえにティッシュでくまのぬいぐるみを つくったとき、せんせいかむしをかんたしてすうじて"いっはいのせけいづ"をかき、ほんものそっくりにつくられた

むしをみせてくれました。うつくしいものの中には、すうじがかくれているのだとおもいました。こんかいは、みのことをしらべたので、つぎははっはのことをしらべてみたいです。

• さんこうにしたほん

『はじめてでもできるかんたんティッシュエト』こまみやひろし